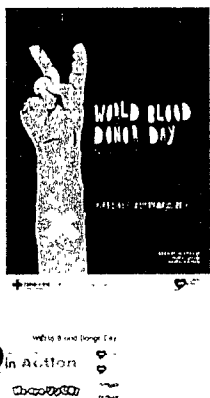
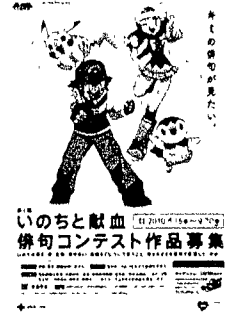

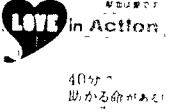




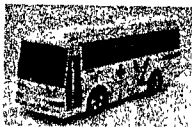
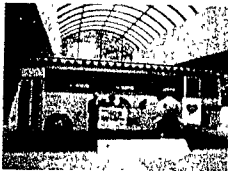
積極的な広報戦略の実施内容

(日本赤十字社の取り組み)

	キャンペーン等名称	目的	実施時期	実施（予定）内容	主催・後援・共催
1	世界献血者デー 	毎年6月14日に、WHO（世界保健機関）、IFRC（国際赤十字・赤新月社連盟）、ISBT（国際輸血学会）、FIBDO（世界献血団体連盟）によって共同で企画され、これらの各団体がひとつの国際的なイベントを通じて集まり、安全な血液や定期的な無償献血の重要性への認識を高める世界的なメディア・キャンペーンを提供。	平成22年6月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンペーンポスターの製作及び配布。 ・ オリジナルステッカーの製作及び配布。 ・ ラジオ番組での周知。 ・ 各血液センターでのイベント開催。 	—
2	日本赤十字社第5回 「いのちと献血俳句コンテスト」 	若年層を中心に幅広い年齢層へ俳句の募集を行い、「献血」を通じて支えられる「生命」に意識を向けさせるとともに、献血活動の意義の理解・普及の機会を創出することを目的として実施し、併せて献血者減少期における献血者確保を図ることを目的とする。	平成22年6月15日から平成22年9月30日まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血、いのちの尊さ、愛、友情、助け合い、感動などについて思うこと、感じたことを俳句で表現し、応募する。 ・ 国内在住の方ならどなたでも応募可。 ・ 応募方法は応募専用ハガキ、官製ハガキ、学校専用応募用紙、FAX 又は WEB。 ・ 主な賞は厚生労働大臣賞、文部科学大臣賞、審査員特別賞、日本赤十字社社長賞等。 ・ 教育現場へのアプローチとして学校用応募キットを小・中・高等学校へ直接送付するほか、教職員グループ「TOSS (Teacher's Organization of Skill Sharing)」との連携により、授業で献血について取り上げてもらう協力を依頼。 ・ 各血液センターで実施する親子献血教室や街頭献血会場と連動してイベントを展開。 	（主催） 日本赤十字社 （後援） 厚生労働省、文部科学省及び各都道府県教育委員会 （協力） 株式会社ポケモン、東京モノレール株式会社、株式会社

キャンペーン等名称	目的	実施時期	実施(予定)内容	主催・後援・共催
<p>3</p> <p>愛の血液助け合い運動</p> 	<p>すべての血液製剤を国民の献血によって安定的に確保する体制を早期に確立するため、広く国民の間に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に、継続的な推進が必要な成分献血・400mL献血への協力と血液製剤の適正使用への協力を求め、献血運動の一層の推進を図ることを目的とする。</p>	<p>平成22年7月1日から平成22年7月31日まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンペーンポスターの製作及び配布。 ・ 各血液センターでのイベント開催。 	<p>(主催)</p> <p>日本赤十字社、厚生労働省、都道府県(後援)</p> <p>文部科学省、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院会、全日本病院協会、全国自治体病院協議会、日本病院薬剤師会、日本新聞協会、日本雑誌協会、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本民営鉄道協会、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本看護協会、日本血液製剤協会、日本労働組合総連合会、日本経済団体連合会、日本製薬団体連合会、全日本薬種商協会、全国配置家庭薬協会、血液製剤調査機構</p> <p>(協賛)</p> <p>健康保険組合連合会、国民健康保険中央会、全国社会福祉協議会</p>
<p>4</p> <p>LOVE in Action PROJECT</p>  	<p>少子高齢化と400mL献血の普及啓発に伴い、若年層献血が減少する中、若年層に献血の意義を伝え、献血行動を促すことを目的とする。</p>	<p>〈第1期〉 平成21年10月1日から平成22年6月30日まで 〈第2期〉 平成22年7月1日から平成23年6月30日まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の献血会場で全来場者にステッカーを配布。 ・ インテリースケープ(バス停メディア)等でポスター掲出。 ・ 各血液センターの講演会やイベント等で放映できる映像コンテンツの制作。 ・ JFN全国37局ネットで毎週月曜日(金曜日)朝6時30分から10分間番組「LOVE in Action」を放送。期間中に1時間程度の特別番組を2回放送予定。 ・ JFN各局による単独イベントの実施や複数局に山本シェウ氏が出演し、各局DJとのトークショーを放送するラジオキャラバンの実施。 ・ アーティストやスポーツ選手により献血啓発イベントを開催。 ・ LOVE in Action Meeting (LIVE) の開催。等 	<p>(後援依頼予定)</p> <p>厚生労働省</p>

	キャンペーン等名称	目的	実施時期	実施（予定）内容	主催・後援・共催
5	<p>はたちの献血キャンペーン</p> 	<p>冬季における血液不足解消と若年層をはじめとする献血協力の訴求及び献血思想の普及啓発を目的とする。</p>	<p>平成23年1月1日から平成23年2月28日まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記者発表会の実施。 ・ キャンペーンポスターの製作及び配布。 ・ テレビ及びラジオCM放映。 ・ 新聞紙への広告出稿。 ・ LOVE in Action PROJECT との効果的な運動を実施。等 	<p>(主催予定) 日本赤十字社、厚生労働省・都道府県</p> <p>(後援予定) 社団法人日本民間放送連盟、社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人日本コミュニティ放送協会</p>
6	<p>自動車教習所設置の広告映像配信システム (JACLA VISION) による広報展開</p> 	<p>特に減少が著しい若年者層が多く集まる自動車教習所の教習生を対象に献血の必要性について訴求し、成分献血者確保の促進を図ることを目的とする。</p>	<p>平成22年7月16日から平成22年9月15日まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英国渡航歴制限緩和関連CMの放映。 ・ アーティスト等による献血に対するメッセージ放映。 ・ 献血 Walker の配布 	—
7	<p>輸血患者とその家族の再現映像の製作</p> 	<p>輸血を受けた患者サイドの声を取りあげた患者さんの感謝の気持ちや、献血された血液かどのように患者さんに使用されているのかを表現することにより、より多くの献血者に献血の使い方方を理解していただくことを目的とする。</p>	<p>平成22年6月から平成22年8月末頃まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製作した映像（ドラマ）を各血液センターが行う広報展開で放映。 ・ 映画館での試写会の開催及び映画祭への出展。 ・ テレビ (CS 放送) での放映。 ・ 全国の主要レンタルビデオ店での無料貸出し。 	—

	キャンペーン等名称	目的	実施時期	実施（予定）内容	主催・後援・共催
8	個人向け小冊子（献血 Walker）の配布 	献血者及び献血未経験者を対象とした輸血患者の感謝の声、献血の案内、説明、広告等を記載した小冊子を制作し活用することで、新規献血者の確保、次回献血の促進を図る。	平成22年10月末及び平成23年3月末	<ul style="list-style-type: none"> 個人向け小冊子（献血 Walker）を献血者向けに 2,500,000 部、一般者向け 500,000 部を製作し配布。 	—
9	献血者減少期における献血者確保のための広報 	10 月から4月における献血者確保が困難な時期に、赤血球製剤の適正在庫数を維持することを目的とする。	平成22年10月1日から平成23年3月31日まで	<ul style="list-style-type: none"> けんけつちゃんハフラッピングトミカ（ミニカー）の製作及び配布。 	—
10	移動採血車のけんけつちゃんラッピング 	献血バスの一層のイメージアップを図ることを目的とする。	平成22年8月1日から平成22年12月31日まで	<ul style="list-style-type: none"> 全国179台（原則として、ラッピング未施工車両全て。）の献血バスの外装をけんけつちゃんラッピング加工の実施。 	—